



河内晩柑(愛南ゴールド)に含まれる成分に、 認知機能を維持・改善する効果

愛媛県は9月14日、河内晩柑果皮入り果汁飲料に人の認知機能を維持・改善する効果があると発表しました。

河内晩柑(愛南ゴールド)の更なる可能性として、生産量日本一を誇る愛南町でも大きな注目が集まっています。愛媛県産業技術研究所の担当者に伺いました。

Q 確認された認知機能の維持・改善効果について教えてください

教えてください

A 河内晩柑の果皮には、認知機能低下の原因となる脳内炎症を抑える効果があると言われる「オーラプテン」という成分が多く含まれています。県と松山大学薬学部、愛媛大学農学部、医学部、(株)えひめ飲料の研究グループは2014年度から連携して研究を進め、果皮入り果汁飲料の製造方法を開発するとともに、高齢者等を対象とした6か月の飲用試験を実施しました。飲用試験の結果、「オーラプテン」を多く含む河内晩柑果皮入りジュースを飲んだグループで認知機能の維持・改善に効果が確認されました。

Q どんな試験をしたのですか

愛媛大学医学部附属病院抗加齢・予防医療センターの抗加齢ドッグを受診された82人を対象にヒト介入試験を

実施しました。この試験は被験者に対し、オーラプテンを多く含む河内晩柑果皮入りジュース(125ml中に6mgのオーラプテンを含む)とそうでない河内晩柑ジュース(125ml中に0.08mgのオーラプテンを含む)のどちらかを6か月間毎日1本飲んでもらい、試験前後で認知機能テストの点数を比較したもので

オーラプテンは、外皮の黄色のところによく含まれています。

①河内晩柑生果



③中村知事と研究グループの代表



写真は愛媛県から提供

②河内晩柑の生果と果皮入り果汁飲料



■試験方法など詳しくはこちらからご覧いただけます。
<https://www.pref.ehime.jp/h30800/kawachi.html>

愛南町では、平成28年度に「愛南柑橘営農環境改革プラン」を策定し、10年先も20年先も自立した産地として、生産者一人ひとりが誇りを持って柑橘営農に尽力し続けられる環境づくりを目指しています。愛南町の宝である河内晩柑(愛南ゴールド)を最大限に活かすためにも、地域一体となった取り組みを進めていきたいと思っております。



愛南ゴールドって
すごいんだなーし

す。詳しい試験方法や結果については、ホームページでも公開しています。

Q 今回の研究成果をどのように活用する予定ですか

A 今後、今回の研究結果を踏まえ、(株)えひめ飲料と協力して河内晩柑果皮入りジュースの商品化を目指す予定です。

す。